

☆ とちぎYMCAサマープログラム実施の報告 ☆

7月中旬よりスタートしました、とちぎYMCAサマープログラム合計10プログラム（ウェルネスプログラムを含む）が予定通り実施され、無事に終了いたしました。子どもたちはプログラム中、有意義な時間を過ごし、貴重な体験を重ねることができました。那須YMCAでは、大学生のユースボランティアリーダー8名が各プログラムに参加し、それぞれの役割の中で子どもたちと向き合い、共に過ごしました。サマープログラムに参加した2名のリーダーの感想を掲載いたします。



▼いもにリーダー（滝田 直輝、国際医療福祉大学2年）参加プログラム：おもいっきり海キャンプ

台風が近づいているという不安がありましたが、天気が崩れることなく、みんなで毎日海に入ることができました。海に入ると、思いの外水温が低く子ども達の身体が冷えてしまわないか心配になりましたが、海で遊べるのがとても楽しかったため、元気に遊ぶことができました。みんな波に揺られるのが楽しくて波に向かって泳いでいたり、波に身体を預けたりして海を満喫していると時間があっという間に過ぎていき、もっと海で遊びたいという声も聞こえてくるほどでした。

今回リーダーとして初めてプログラムの進行を行い、不安で一杯な時もありましたが、子ども達の笑顔を絶えることなく見ることができ、他のリーダー達に支えられながら自分も楽しんでキャンプを過ごすことができました。

▼やぎリーダー（八木澤 亜季、国際医療福祉大学2年）参加プログラム：赤城わくわくキャンプ

赤城ワクワクキャンプは私にとってもチャレンジなキャンプでした。キャンプに初めて関わって、子どもたちのチャレンジを引き出す、チャレンジをたくさん考えました！山探検や泥遊び、宝探し、キャンプファイヤー！！キャンプ中の子どもたちの様子を見て、自分から進んで一生懸命に取り組む姿や、心から楽しんでいる姿！赤城の大自然に虫や植物に興味津々の姿。子どもたちの表情を見て私も元氣をもらいました！一泊二日と短いキャンプではありましたが、初めて会うお友だちと『友だちになる』から始まり、みんなでお風呂に入ったりご飯を食べたり、お泊りをして、とても濃い経験になりました。

YMCAのプログラムにはCaring（やさしくする）、Honesty（しょうじきになる）、Respect（人を大切におもう）、Responsibility（できることは自分からする）というYMCAで大切にしている4つの想いが込められています。プログラムの様々な場面で、子どもたちがそれらを感じ考えたらとても嬉しく思います。また、その経験が子どもたちを成長させ、日々の生活で活かされることを願い、今後もプログラムを展開していきます。この度は、とちぎYMCAサマープログラムにご協力頂きありがとうございます。今後ともご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

「那須YMCA地域活動報告会を行いました！」



6月20日（金）に日本キリスト教団西那須野教会をお借りし、那須YMCA地域活動報告会を開催いたしました。当日は、約30名の出席をいただき、盛況に報告会を終えることができました。第1部では、最初に那須YMCAの地域活動報告を行いました。那須YMCA設立時に職員として担当した藤生より、設立時の熱い思いを振り返るとともに挨拶をし、那須ランチ委員長の田村修也さんより希望に満ちた挨拶の言葉を頂きました。その後、職員の荒井より那須YMCAの活動紹介を行いました。

第1部の最後には特別ゲストとして、馬頭農村塾代表（元アジア学院校長）の野崎威三男様よりご講演を頂きました。「共に生きるために」そして、「世界は貴方を必要とする！」などの熱いメッセージを、ご自身がヨルダンYMCAの難民キャンプに参加された経験や、アジア学院での体験とともにお話をされていました。

夕食は、那須YMCAのユースボランティアリーダーが作ったカレーを頂き、第2部は、昨年度、那須YMCAにおいてとても活躍した、ユースボランティアリーダーからの活動報告及び抱負を発表しました。スライド写真を見ながら、大変だったこと、嬉しかったこと、笑ったことなど、活動のエピソードを語り、とても充実した活動や体験を参加者のみなさんに伝えていました。第2部の最後には、那須YMCAで活躍するユースボランティアリーダーの認証式を行いました。第2部は若者の力強いパワーを感じることでできた時間となりました。

出席者の皆様に協力いただき、無事に報告会を終えることができたことに感謝します。

那須YMCAは、引き続き那須・県北地域において、様々なことにアクションを行っていきたいと思います。

「世界YMCA同盟よりワールドチャレンジ2014の参加状が届きました！」

6月、那須YMCAにて活躍しているユースボランティアリーダーたちと動画を作成し、YMCAワールドチャレンジ2014に参加いたしました。その参加状が世界YMCA同盟から届きました！



YMCAが創立されて170周年を記念して、世界のYMCAが、

「I stand up for young people and their voice to be heard!」

（若者の声が社会に届くよう、私は立ち上がります）

というユース宣言をする世界的なチャレンジ（ワールドチャレンジ）を行っています。ユース（若者）の力を信じ、那須より様々なアクションを行っていきます。

那須YMCA投稿動画アドレス：<http://youtu.be/6YbF6OITmjQ> 是非ご覧ください！

NASU YMCA Memory

このコーナーでは那須YMCAに関わる方々の思い出やエピソードを紹介いたします！

1996年4月より1999年3月までの3年間、那須YMCAを担当しました。この3年間は、那須YMCAの設立準備（1997年6月設立）と運営のために、1996年夏スタートの「中高生ボランティアスクール」や1997年秋スタートの「野外グループ活動『地球探検隊』」を始めとするYMCAの地域支援活動のために、そして1995年9月にチャーターした「那須ワイズメンズクラブ」の2代目担当主事として、週に2～3回ほど大田原市・西那須野町を中心に宇都宮YMCAより行っていました。

当時、大田原市・西那須野町まで行くのに2時間近く掛かっていました。今と違い、国道4号はほとんどが片側一車線でしたし、いたるところで道路工事を行っていました。ミーティングのため那須へ向かう方は帰宅ラッシュにぶつかり、宇都宮へ帰る夜遅くは道路工事にぶつかり、「とても遠いなあ」という印象を持ったことを覚えています。もちろん渋滞を避けるため裏道も行きましたが、遠回りとなり結局は同じ状況でした。

今は、国道4号はほとんどの区間が片側二車線になり、バイパスのバイパス（！）が出来たり、経済的な諸事情のため、渋滞は少なく1時間ちょっとで行くことが出来ます。現在もYMCA地域支援活動のため国際医療福祉大学へ月に数回行きますが、移動時間が半分に（！）なったのはすごい変化だと思います。

余談ですが、数年前YMCA老人ホーム「マイホームきよはら」に勤務していた時は、宇都宮市の北にある自宅から宇都宮市の東にある「マイホームきよはら」まで、朝の通勤は1時間40分掛かっていました。遠かったなあ！



↑ 那須YMCA設立総会（1997年6月28日@那須野が原ハーモニーホール）



とちぎYMCA
藤生 強



↑ 那須YMCA設立総会時に藤生は司会を行っていました。

Leader's Voice

このコーナーでは那須YMCAで活躍するリーダーたちの声を紹介していきます！

Voiceテーマ：出身地のお国自慢！

- ① リーダー名（名前）
- ② 大学/学年
- ③ 専攻
- ④ 出身地



- ① すっちゃん（須江 卓也）
- ② 国福大/大1
- ③ 薬学
- ④ 長野県佐久市



- ① もっちゃん（橋本 祐翼）
- ② 国福大/大1
- ③ 薬学
- ④ 福島県郡山市



- ① こまゆ（小出 麻結）
- ② 国福大/大1
- ③ 看護学
- ④ 長野県上田市



- ① けーも（小林 美里）
- ② 国福大/大1
- ③ 作業療法学
- ④ 福島県会津市



- ① さっちゃん（浅野 里実）
- ② 国福大/大1
- ③ 看護学
- ④ 長野県塩尻市



- ① シェル（酒井 舞）
- ② 国福大/大1
- ③ 看護学
- ④ 茨城県鉾田市



- ① ちー（末永 千紜）
- ② 国福大/大1
- ③ 看護学
- ④ 福島県いわき市



- ① しゃうまい（笠間 脩平）
- ② 国福大/大2
- ③ 医療福祉・マネジメント学
- ④ 群馬県前橋市



- ① チャン（太田 晃平）
- ② 国福大/大2
- ③ 視機能療法学
- ④ 長野県松本市



- ① かとう（塚本 貴大）
- ② 国福大/大2
- ③ 医療福祉・マネジメント学
- ④ 栃木県益子町



- ① ばばちゃん（馬場 信人）
- ② 国福大/大2
- ③ 視機能療法学
- ④ 福島県須賀川市



- ① めい（菅野 里佳）
- ② 国福大/大2
- ③ 作業療法学
- ④ 福島県二本松市